

秋の星空観測会

10月6日 村民グラウンド



第 704 号
発行人 ● 豊丘村公民館 館長 原 国人
編集人 ● 長野県下伊那郡 豊丘村公民館報 編集委員会
0265-35-9066
印刷所 ● 龍共印刷株式会社

私たちの村
(10月1日現在 ※外国人を含む)
男 3,332人
女 3,370人
総人口 6,702人
世帯数 2,160戸

見えたぞ！ 月のクレーターや土星の輪 村民グラウンドで星空観測会開かれる

南の空に、上弦の月、その右には土星、更に右には木星が見えるという十月六日の夜、秋の星空観測会が村民グラウンドで開かれ、村内外から家族連れなど八十人余の方々が参加しました。講師には国立天文台特別客員研究員の佐伯昌市氏をはじめ、友人の四人が東京から駆けつけ、更に、地元のアマチュア天文家で構成する「飯田御月見天文同好会」のメンバーらが応援するという態勢が敷かれました。

中心講師の佐伯氏は、杉並区立科学館のプラネタリウム担当として長く活躍され、退職後は国立天文台に招かれ、科学プロデューサーや科学映像クリエイターの

人材育成を担当している専門家で、今回の企画は、杉並区役所現役時代に親交のあった村内の友人の熱意で実現したものです。

会場には四台の天体望遠鏡がそれぞれの星に照準を合わせて設置され、見学者は行列をつくって、月のクレーターや海、土星の輪、木星の衛星を観望しました。望遠鏡を覗くのは初めてという女性も、月の平らなところは？という質問もあがり、スタッフから「海と云うんですよ」と教えてもら

うと、「自分の知らない世界を知ることでワクワクする」と話していました。

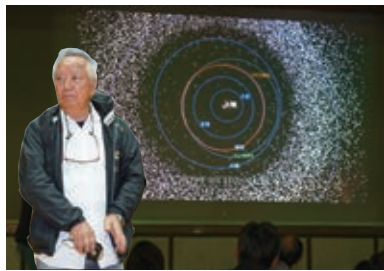
あいにくこの日は雲が立ち込め、観測会の後半は体育館に会場を移して、国立天文台が開発した「ナビゲーション・ソフト」(Navigation Software)を使って宇宙の旅を楽しみました。このソフトは、天文学に関する様々な観測データを基にCGで再現したもので、誰もが無料でダウンロードできます。

佐伯氏はその映像を操作しながら、「地球の一周は四万キロと言われるが、どうしてそう言えるのでしょうか」と問いかけ、続けて、「水の地球と言われているが、地球をリングに例えれば、水はその皮のうしろ側は、宇宙はたくさん銀河の集まりで、人類は百三十八億光年までの宇宙を知るところまで到達しているが、宇宙の解明は今も続いている。最近のノーベル物理学賞は天

文学に関する長年の研究成果が実ったものが多い。皆さんも宇宙や科学に関心をもちたい」と参加者に熱く語りかけました。

小惑星探査機はやぶさ2の活躍などで宇宙への関心が高まる中、公民館では今後ともこうした活動について検討していきたいと考えています。

(社会部長 菅沼秀夫)



とよちか金時寄席

九月二十八日ゆめあてにてお馴染みとなりました「とよちか金時寄席」が開催されました。当日は、二百名ものみなさまにお越しいただき、会場はまさしく満員御礼となりました。

この金時寄席は、二つの大きな力が動いて開催されており、一つ目は、当村のふるさと大使である、柿外土出身、丸山克俊先生の繋がりでこの寄席が始まりました。大変ありがたいことであり、丸山先生のお力があったからこそ、この寄席が開催できております。

二つ目は、「文化事業実行委員会」により企画運営が

されております。この実行委員会、手弁当で、仕事の合間を縫ってチケット販売をし、当日は、立派な高座を作り上げ、まさにこの大掛かりな事業を成し遂げる縁の下力持ちの存在です。

嘶家のみなさまは、十一時に豊丘入りし、道の駅のレストランで昼食をとられました。また、時間もあつたので歴史民俗資料館にも立ち寄りられました。三遊亭金八師匠は、これら豊丘の話を取り上げ、会場は大笑でした。歴史民俗資料館を案内した唐沢武彦主任は、「嘶家さんは聞き上手で驚いた」と感心していました。

最初に高座に上がった二ツ目春風亭喜いちさんは、若さあふれる嘶を繰り広げ、会場を盛り上げてくれました。トリの前に出演した松山うめ吉師匠は三味線と小唄、おどりを披露してくれました。今回、実行委員から「色物(寄席で行われる落語以外の演芸が入るといいね)」との意見が出され、今年取り入れられました。紅一点、うめ吉師匠の三味線の音色としっかりとした声でのなはしは、落語と違ってまた味のあるものでした。

そして、大トリは三遊亭金時師匠でした。金時師匠は人情嘶が得意だと聞いていましたが、「二番煎じ」と

いう江戸の防火警護の滑稽嘶で楽しませ笑わせてくれました。嘶の山場となる鍋をつつき酒を飲む場面では、目、口、頬の一つ一つの表情の変化が観客の目の前で繰り広げられ、会場全体が嘶に引き込まれて、終わった時には会場が大きな拍手に包まれました。

金時師匠は、来年九月に五代目三遊亭金馬を襲名されます。

襲名披露を五十日間行なうなど来年は増々多忙



松山うめ吉師匠



三遊亭金時師匠

になると思いますが、ぜひ来年も賑々しく「とよちか金馬寄席」ができますよう実行委員会一同がんばります。

(教育委員会社会教育係 松村佐織)

若い頃から苦労し、長く一人暮らしをしていた母が八十一歳の時、はつらつデイスサービスで行われた誕生日祝いの寄せ書きのお礼の一言に、数年前に娘に先立たれたにもかかわらず、「今が一番幸せ」と書いていた。このような心境は母だけではないようで、本紙の「元気な高齢者」でも、「今が一番 幸せ」感を漂わせておられる方々が散見される。中には、「幸せ」の文字も見受けられる。

人生の終盤高齢におけるこのような心境は、何に由るのだろうか。

察するに一つは、健康なことであろう。しかも健康寿命が大事である。(ちなみに母は現在九十六歳、八年ほど前から特養斎木荘にお世話になっている。)皆さん健康寿命を延ばしましょう。

二つは、自立と生きがい感であろうか。一人暮らしが否かに関係なく、自立し一人を楽しめることが大切と思われる。皆さん濡れ落葉化してませんか。

三つは、足るを知った身の丈に合った暮らしではなからうか。多少のストレスと上手に付き合ひながら、欲望を自制し、私利私欲に走らず、不平不満もほどほどに心穏やかに過ごす日々。安らぎの刻が流れる。

後ればせながら、九月十六日は敬老の日でした。おじいさん、おばあさん、おめでとーございました。

(小池光好)



卓球で全国大会出場

誰かの影響で、誰かのために

地蔵道 西元由希音

卓球歴十六年目。中学での目標北信越を目指し、父母への恩返しのため頑張って卓球をやっていました。高校総体で個人一位、ダブルス一位、団体戦一位といった良い結果を残すことができました。社会人になって卓球をやろうと思いましたが、いざ社会人になると仕事でつかれてなかなか行く事ができなくて卓球にたいする熱も冷めてしまっていました。ある日、あまりテレビを見ない私なのですが、たまたまテレビをつけたら「稀勢の里引退!」という番組をやっていました。なぜか、私は心を打た



い」と言ってくれました。高校以来の大会にも今年から出ました。七月に予選で勝つ事ができ、九月に熊本に全国大会に行けることになりました。



全国大会出場前に表敬訪問

稀勢の里の最後の取り組みをテレビ越しで家族で必死に応援していました。ですが負けてしまい次の日ぐらいのニュースに「引退」がのっていました。すごく悲しかったです。稀勢の里の動画を観戦を毎日するのが日課でした。ある日の夜、父の部屋から卓球のビデオを見ている音が聞こえました。行ってみると父母が私の高校時代の試合を見ていました。そ

の時母から、また卓球の試合に行きたいという言葉合見にきました。私が稀勢の里を見ているのと親が私の試合を見ている事は同じ事を思っていて見ているんだと気づきました。私もまた卓球やろうと思

た。稀勢の里の動画を観戦を毎日するのが日課でした。ある日の夜、父の部屋から卓球のビデオを見ている音が聞こえました。行ってみると父母が私の高校時代の試合を見ていました。そ

シリーズ「元氣な高齢者」⑥
満蒙開拓を思いつく今の平和を噛みしめる
久保田 謙さん
八十九歳
中芝在住



が常のため、馬を使った運送業に切り替えた。家業は忙しく、謙さんは体格が良く丈夫であったため、時には学校を休んで手伝った。高等科を卒業し、当時分村運動が盛んであった世情に乗り、役場からの勧めもあり十九年、十四歳で満州へ渡った。家族からの反対は特になかった。同級生六人は義勇兵となったが、中は耳炎を患ったこともある謙さんは不合格となり、軍需工場への就職を考えていたが、一晩考えた末の結論であつた。三月に決まり五月に渡満し満州国首都の長春（新京）に入植した。二十代、三十代の人々が中心で総勢二十四人であつた。全員がオンドル付きの一部屋で生活し、食事も充実しており快適と言え生活であつた。しかしそれも一年三ヶ月の期間だけであつた。八月十五日の終戦を機に運命が大きく狂い始めた。翌十六日に現地人の暴動波が押し寄せ、着の身着のままで追い出さ

た。生家の近くに工場を新築し意気揚々とした船出であつた。海さんは謙さんを懸命に支えたが、長年の苦勞が祟り無念にも十五年前に亡くなった。趣味は詩吟で準師範の免許を持っており約二十年の経験有する。他にゲートボールを十年ほど楽しんだ。健康的には最近四年間薬とは無縁で、足の痛み止め用に漢方薬を飲んでる程度である。白内障の手術を受けたが、車の運転は近くの畑程度までは行っている。しかし、ぼつぼつ返納の時かなと自覚している。

文責 桐崎 長一

蛇川下流域三六災害体験談(6)
災害復旧は幾日もかかったし蛇川橋も架け直した

聞き手 原 章 (古畑)

☆たまったものがどのよう

に撤去されて元に復旧されていったと記憶されていますか？（建設機械や運搬車両など）☆

お二人の蛇川下流域での三六災のときの体験のお話は、以上です。とても貴重なお話だと思います。次回からは、お二人のお話に關わつての事を少し書きたいと思ひます。

河野村の満蒙開拓体験者の最後の一人である久保田さんに取材させて頂いた。凄惨な内容があり胸に詰まるものがあつた。今でもあちこちの報道機関から取材があり、また小中高での講演も数知れないとのこと。本紙もその部分が多くなっていることを「了解願ひます」。

昭和五年に、万年橋麓の久保田家で七人きょうだい（男三人、女四人）の次男として生まれた。父親は河野一円を主として山の木を伐採し切り出す山師であつたが、それらの木が直ぐに市場へ出て行く訳でもなく、収入になるのが遅くなるの

終戦前の九日にソ連軍が侵攻してきていた。その時防御の盾となるはずの関東軍は、見捨てて逃げていた。戦力となる成人男性は召集されており、残った年配の団長、女性及び謙さんを含む子供だけの集団で新京から百kmほど離れた吉林へ向かった。しかし途中で捕まり団長が不慮の死、女性、子供も集団自決を遂げるに至り、残った謙さんともう一人の青年が、互いに傷つけ合うという凄惨さの末、六く七時間気を失っていたが、雨で気付き泥水をすくって口の渴きを凌ぐなど、一週間ほどを彷徨つた末、幸運にも現地の日雇い人夫の頭の助けを得、まさに九死に一生を得た。

二十一年九月に内地への引き上げが始まったが、家族連れ、女子供が優先された。若く元氣な人達約千人が残され、謙さんは八路军の捕虜となつた。鉄道事業の残工事に参加したが、収

た。生家の近くに工場を新築し意気揚々とした船出であつた。海さんは謙さんを懸命に支えたが、長年の苦勞が祟り無念にも十五年前に亡くなった。趣味は詩吟で準師範の免許を持っており約二十年の経験有する。他にゲートボールを十年ほど楽しんだ。健康的には最近四年間薬とは無縁で、足の痛み止め用に漢方薬を飲んでる程度である。白内障の手術を受けたが、車の運転は近くの畑程度までは行っている。しかし、ぼつぼつ返納の時かなと自覚している。

文責 桐崎 長一

「神稲建設の機械が二台来て、蛇川に入つてそこから土を出していた。かなりたまっていたので、幾日もかかった。川の近くの低い土地などにその土を上げたりした。そうしなければ神稲建設でも砂のやり場がなかったのではないかと思う。その方法でいい加減処分していたようだが、川の砂はたくさんだったので、ほかのところに持っていったり片付けたりにしているようだった。」

「最後には自衛隊が来た。家の近くでは、自衛隊はちよつと顔を見たくらいだった。けれど、下の方はもつと自衛隊が入っているようだった。い

「蛇川橋は昭和三十八年に一回架け替えて昭和四十八年に更に橋を架け直した。橋を直すのはとても速く驚いた。」（蛇川橋の銘板には、一九六四と一九七三の文字がある）

河野村の満蒙開拓体験者の最後の一人である久保田さんに取材させて頂いた。凄惨な内容があり胸に詰まるものがあつた。今でもあちこちの報道機関から取材があり、また小中高での講演も数知れないとのこと。本紙もその部分が多くなっていることを「了解願ひます」。

昭和五年に、万年橋麓の久保田家で七人きょうだい（男三人、女四人）の次男として生まれた。父親は河野一円を主として山の木を伐採し切り出す山師であつたが、それらの木が直ぐに市場へ出て行く訳でもなく、収入になるのが遅くなるの

終戦前の九日にソ連軍が侵攻してきていた。その時防御の盾となるはずの関東軍は、見捨てて逃げていた。戦力となる成人男性は召集されており、残った年配の団長、女性及び謙さんを含む子供だけの集団で新京から百kmほど離れた吉林へ向かった。しかし途中で捕まり団長が不慮の死、女性、子供も集団自決を遂げるに至り、残った謙さんともう一人の青年が、互いに傷つけ合うという凄惨さの末、六く七時間気を失っていたが、雨で気付き泥水をすくって口の渴きを凌ぐなど、一週間ほどを彷徨つた末、幸運にも現地の日雇い人夫の頭の助けを得、まさに九死に一生を得た。

二十一年九月に内地への引き上げが始まったが、家族連れ、女子供が優先された。若く元氣な人達約千人が残され、謙さんは八路军の捕虜となつた。鉄道事業の残工事に参加したが、収

た。生家の近くに工場を新築し意気揚々とした船出であつた。海さんは謙さんを懸命に支えたが、長年の苦勞が祟り無念にも十五年前に亡くなった。趣味は詩吟で準師範の免許を持っており約二十年の経験有する。他にゲートボールを十年ほど楽しんだ。健康的には最近四年間薬とは無縁で、足の痛み止め用に漢方薬を飲んでる程度である。白内障の手術を受けたが、車の運転は近くの畑程度までは行っている。しかし、ぼつぼつ返納の時かなと自覚している。

文責 桐崎 長一



蛇川橋の銘板

河野村の満蒙開拓体験者の最後の一人である久保田さんに取材させて頂いた。凄惨な内容があり胸に詰まるものがあつた。今でもあちこちの報道機関から取材があり、また小中高での講演も数知れないとのこと。本紙もその部分が多くなっていることを「了解願ひます」。

昭和五年に、万年橋麓の久保田家で七人きょうだい（男三人、女四人）の次男として生まれた。父親は河野一円を主として山の木を伐採し切り出す山師であつたが、それらの木が直ぐに市場へ出て行く訳でもなく、収入になるのが遅くなるの

終戦前の九日にソ連軍が侵攻してきていた。その時防御の盾となるはずの関東軍は、見捨てて逃げていた。戦力となる成人男性は召集されており、残った年配の団長、女性及び謙さんを含む子供だけの集団で新京から百kmほど離れた吉林へ向かった。しかし途中で捕まり団長が不慮の死、女性、子供も集団自決を遂げるに至り、残った謙さんともう一人の青年が、互いに傷つけ合うという凄惨さの末、六く七時間気を失っていたが、雨で気付き泥水をすくって口の渴きを凌ぐなど、一週間ほどを彷徨つた末、幸運にも現地の日雇い人夫の頭の助けを得、まさに九死に一生を得た。

二十一年九月に内地への引き上げが始まったが、家族連れ、女子供が優先された。若く元氣な人達約千人が残され、謙さんは八路军の捕虜となつた。鉄道事業の残工事に参加したが、収

た。生家の近くに工場を新築し意気揚々とした船出であつた。海さんは謙さんを懸命に支えたが、長年の苦勞が祟り無念にも十五年前に亡くなった。趣味は詩吟で準師範の免許を持っており約二十年の経験有する。他にゲートボールを十年ほど楽しんだ。健康的には最近四年間薬とは無縁で、足の痛み止め用に漢方薬を飲んでる程度である。白内障の手術を受けたが、車の運転は近くの畑程度までは行っている。しかし、ぼつぼつ返納の時かなと自覚している。

文責 桐崎 長一

こちら資料館 199

立正大生の夏合宿

写真は、資料館の収蔵庫で、昔の民具を調査中の学生さんと先生です。

今年も夏休みを利用して、立正大の学生さんと先生計八名が古文書等の調査のために豊丘村を訪れました。「河野村文書」が結んだ偶然の縁で始まった「合宿」はこれで四回目となります。

今回は、指導者の藤井先生が横須賀市の自然・人文博物館学芸員として異動された関係で、同じ博物館で民俗学担当の瀬川先生が初めて参加されました。豊丘には昔ながらの行事や慣習があまり残っていないのですが、私たちとの話や村を散策する中で、先生は特に「秋葉講」と「念仏講」に興味を持たれたようです。

一方学生さんたちは、各自のテーマに沿って、資料館でお預かりしている古文書や武田彦左衛門先生の資料を使って熱心に調査活動を行っていました。その成果は来年の二月に予定している「古文書研究発表会」で発表されます。今年度は江戸時代に幕府から派遣されてこの地の様子を見にやってきた「巡検使」について、大学院で研究している仲泉剛さんが発表してくれそうです。



料を使って熱心に調査活動を行っていました。その成果は来年の二月に予定している「古文書研究発表会」で発表されます。今年度は江戸時代に幕府から派遣されてこの地の様子を見にやってきた「巡検使」について、大学院で研究している仲泉剛さんが発表してくれそうです。

「巡検使」について、大学院で研究している仲泉剛さんが発表してくれそうです。ご期待ください。

(資料館主任 唐澤武彦)

最短距離のこの山道は幼時の印象では多少、気味悪さもあつたが、木も伐られて明るくなり、妖怪の住まう昔とは違つて風情のある道だつたのでよくこを歩いた。ある夜の夜半過ぎ、よく言う丑三つ時に職員会を終えて空き腹を抱えながら巻が城を外れて、もうわすかで家へたどりつけると思われる地点に來た。それは飯田の街の灯が見られる眺望のよいところだつた。ほつとした途端、目前に幅三センチ、長さはどのくらいあつたか、中天まで伸びてすこし曲がつたかのように見えたが、長い炎の柱があらわれてびくくりした。これが火柱というものだろう。その後、二年ほど経て昭和十八年一月、再度の応召で南海で見慣れた照空灯とは大変異なつたものだといふまでも不思議でならない。この火柱が飯田の上空からたちのぼつて大きくなり、私の目の前で立ち塞がつて消えた現象は、夜おそくまで教育課題の解決に心身の疲労がもたらしたものと云い切れない、今もって摩訶不思議なことでした。

いずれにしても非科学的だと笑われるかもしれないこんな馬鹿げた話に、人生の不可解さがあるのではないでしようか。

(豊丘村民話集・第壹輯
〔昭和五十二年〕より)

文責 壬生雅穂

これは、去る九月十一日に村の北小・南小・中学校で開催された「豊丘芸術鑑賞教室」を鑑賞した、豊丘中三年 Nさんの日記です。ステキな音楽との出会いを通して、心が揺り動かされ、感動に包まれたことを素直に書き表しています。そんな演奏会の様子を少しだけお伝えします。

演奏会では、モーツァルトの「アイネ・クライネ・ナハト・ムジーク」や、チャイコフスキーの「弦楽セレナーデ」など、弦楽合奏の定番から、小石峯さんの歌を交えた「ホール・ニュー・ワールド」、東日本大震災の復興支援ソングの「花は咲く」、そして、アニメ「響け！ユーフォニアム」の主題歌「REAM SOLISTE」を鑑賞しました。

弦楽器の多彩な音色、深い味わい、弦楽合奏ならではのハーモニーの美しさ、繊細な強弱表現にすっかり魅了されました。また、五人の息の合ったアンサンブルに、子どもたちの目はくぎ付けになっていました。すぐ目の前で素晴らしい演奏を見て、聴くことができたことは、何事にも代え難い経験となりました。小石峯さんの歌声は会場中に響き渡り、感動に包まれました。ドイツニーやアニメの主題歌でしたので、子どもたちにもなじみがあり、存分に楽しんでいました。



演奏会の最後には、それぞれの校歌を弦楽アレンジで演奏していただくというサプライズもあり、子どもたちはちょっと雰囲気の違いを感じていました。

第七分館においては九月十五日にパノラマ公園グラウンドにて、秋季レクリエーション大会が行なわれました。この秋季レクリエーション大会は、二年に一度の区民運動会を行なわない年度に行なっております。

競技種目はグラウンドゴルフを行いました。グラウンドゴルフとは、専用のクラブを使用し、ボールを打ってホールポストにホールイン（入って静止した状態）するまでの打数を競います。クラブについてはマレットゴルフのクラブと似ていますが、ボールを打つ部分が木製で作られています。ボールにしても、マレットゴルフのボールにくらべると一回り小さいサイズです。直線コースや、ゲートを必ず通さなければならぬコースがあり、長椅子と長椅子が置かれその間を通しホールポストを目指すコース、途中置かれた長椅子の天板を反射板に見立て、ボールを当てて転がる向きを変化させながらホールポストを目指すコース等があります。

当日は天気も良く、夏を思わせる暑さの中、三十四名の参加者がありました。熱中症対策として水分補給も忘れずにブレイしました。思う様にボールが転がらず、悪戦苦闘する場面も見られ、歓声や笑いが聞こえる中、とても楽しく競技することができました。普段なかなか会えない人、話したことのない人達とのふれあいの場にもなりました。

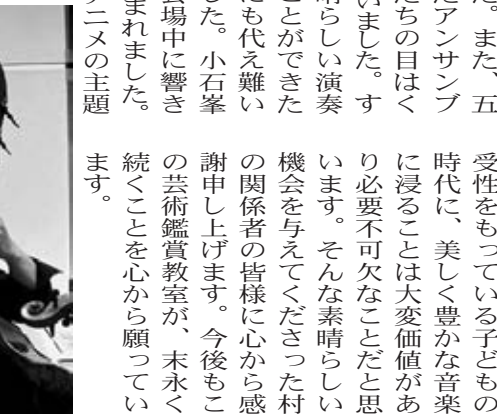
懇親会は壬生沢福島集落拠点施設にて行いました。ここでも隣に座った人達との会話も楽しいのですが、一番盛り上がったのは、表彰式での順位発表でした。順位においての豪華賞品や参加賞は、参加者の何よりの楽しみの一つとなつていくことです。順位入賞狙いばかりではなく、楽しく参加できる要因のひとつなのではないでしょうか。今後も地域の皆さんが健康で公民館の事業に参加されることを願っています。

白装束の男が座っていた話はそれきりだったが、次はまた別の人の話だ。Kが家路に帰る道すがら、夕刻この辺にさしかかると急に道がわからなくなり、日はとつぷりと暮れ、彼は家路と思われる方向へひたすらに歩んだ。しばらくすると東の空が白んできて、Kが気づいたことは道を迷つたと思われた地点を一步も動いていなかったのと、その一日一日がかりで田村の店まで行って買い求めてきた魚がみんななくなつていったことだった。

これは、去る九月十一日に村の北小・南小・中学校で開催された「豊丘芸術鑑賞教室」を鑑賞した、豊丘中三年 Nさんの日記です。ステキな音楽との出会いを通して、心が揺り動かされ、感動に包まれたことを素直に書き表しています。そんな演奏会の様子を少しだけお伝えします。

演奏会では、モーツァルトの「アイネ・クライネ・ナハト・ムジーク」や、チャイコフスキーの「弦楽セレナーデ」など、弦楽合奏の定番から、小石峯さんの歌を交えた「ホール・ニュー・ワールド」、東日本大震災の復興支援ソングの「花は咲く」、そして、アニメ「響け！ユーフォニアム」の主題歌「REAM SOLISTE」を鑑賞しました。

弦楽器の多彩な音色、深い味わい、弦楽合奏ならではのハーモニーの美しさ、繊細な強弱表現にすっかり魅了されました。また、五人の息の合ったアンサンブルに、子どもたちの目はくぎ付けになっていました。すぐ目の前で素晴らしい演奏を見て、聴くことができたことは、何事にも代え難い経験となりました。小石峯さんの歌声は会場中に響き渡り、感動に包まれました。ドイツニーやアニメの主題歌でしたので、子どもたちにもなじみがあり、存分に楽しんでいました。



懇親会は壬生沢福島集落拠点施設にて行いました。ここでも隣に座った人達との会話も楽しいのですが、一番盛り上がったのは、表彰式での順位発表でした。順位においての豪華賞品や参加賞は、参加者の何よりの楽しみの一つとなつていくことです。順位入賞狙いばかりではなく、楽しく参加できる要因のひとつなのではないでしょうか。今後も地域の皆さんが健康で公民館の事業に参加されることを願っています。

白装束の男が座っていた話はそれきりだったが、次はまた別の人の話だ。Kが家路に帰る道すがら、夕刻この辺にさしかかると急に道がわからなくなり、日はとつぷりと暮れ、彼は家路と思われる方向へひたすらに歩んだ。しばらくすると東の空が白んできて、Kが気づいたことは道を迷つたと思われた地点を一步も動いていなかったのと、その一日一日がかりで田村の店まで行って買い求めてきた魚がみんななくなつていったことだった。

これはこんな話だつた。Yが鼻歌まじりで巻が城の小径まで来ると、ふと道ばたに白装束の男が後ろ向きになつて座っているではないか。声をかけたが動かない。樹木に囲まれたこの小径は一本道でほかに回り道はない。どいてくれと頼んでも白装束は身動きひとつしない。気味が悪くなつたYは酒の酔いもすっかり醒めて這う這うの体で近くの私の家へ逃げ込んだという話だ。翌日、祖父が朝起きて早々に行つてきてみたが何の異状もなかった。Yは「狐にばかされたんぞ」と祖母は言っていた。

それはこんな話だつた。Yが鼻歌まじりで巻が城の小径まで来ると、ふと道ばたに白装束の男が後ろ向きになつて座っているではないか。声をかけたが動かない。樹木に囲まれたこの小径は一本道でほかに回り道はない。どいてくれと頼んでも白装束は身動きひとつしない。気味が悪くなつたYは酒の酔いもすっかり醒めて這う這うの体で近くの私の家へ逃げ込んだという話だ。翌日、祖父が朝起きて早々に行つてきてみたが何の異状もなかった。Yは「狐にばかされたんぞ」と祖母は言っていた。

それはこんな話だつた。Yが鼻歌まじりで巻が城の小径まで来ると、ふと道ばたに白装束の男が後ろ向きになつて座っているではないか。声をかけたが動かない。樹木に囲まれたこの小径は一本道でほかに回り道はない。どいてくれと頼んでも白装束は身動きひとつしない。気味が悪くなつたYは酒の酔いもすっかり醒めて這う這うの体で近くの私の家へ逃げ込んだという話だ。翌日、祖父が朝起きて早々に行つてきてみたが何の異状もなかった。Yは「狐にばかされたんぞ」と祖母は言っていた。

それはこんな話だつた。Yが鼻歌まじりで巻が城の小径まで来ると、ふと道ばたに白装束の男が後ろ向きになつて座っているではないか。声をかけたが動かない。樹木に囲まれたこの小径は一本道でほかに回り道はない。どいてくれと頼んでも白装束は身動きひとつしない。気味が悪くなつたYは酒の酔いもすっかり醒めて這う這うの体で近くの私の家へ逃げ込んだという話だ。翌日、祖父が朝起きて早々に行つてきてみたが何の異状もなかった。Yは「狐にばかされたんぞ」と祖母は言っていた。

ステキな音楽との出会い

三校で芸術鑑賞教室

う伴奏に合わせて楽しく歌いました。アンコールは、子どもたちに大人気の「パプリカ」。小学生は音楽に合わせてノリノリで歌い踊り、演奏会は幕を閉じました。



線コースや、ゲートを必ず通さなければならぬコースがあり、長椅子と長椅子が置かれその間を通しホールポストを目指すコース、途中置かれた長椅子の天板を反射板に見立て、ボールを当てて転がる向きを変化させながらホールポストを目指すコース等があります。

当日は天気も良く、夏を思わせる暑さの中、三十四名の参加者がありました。熱中症対策として水分補給も忘れずにブレイしました。思う様にボールが転がらず、悪戦苦闘する場面も見られ、歓声や笑いが聞こえる中、とても楽しく競技することができました。普段なかなか会えない人、話したことのない人達とのふれあいの場にもなりました。

懇親会は壬生沢福島集落拠点施設にて行いました。ここでも隣に座った人達との会話も楽しいのですが、一番盛り上がったのは、表彰式での順位発表でした。順位においての豪華賞品や参加賞は、参加者の何よりの楽しみの一つとなつていくことです。順位入賞狙いばかりではなく、楽しく参加できる要因のひとつなのではないでしょうか。今後も地域の皆さんが健康で公民館の事業に参加されることを願っています。

白装束の男が座っていた話はそれきりだったが、次はまた別の人の話だ。Kが家路に帰る道すがら、夕刻この辺にさしかかると急に道がわからなくなり、日はとつぷりと暮れ、彼は家路と思われる方向へひたすらに歩んだ。しばらくすると東の空が白んできて、Kが気づいたことは道を迷つたと思われた地点を一步も動いていなかったのと、その一日一日がかりで田村の店まで行って買い求めてきた魚がみんななくなつていったことだった。

これはこんな話だつた。Yが鼻歌まじりで巻が城の小径まで来ると、ふと道ばたに白装束の男が後ろ向きになつて座っているではないか。声をかけたが動かない。樹木に囲まれたこの小径は一本道でほかに回り道はない。どいてくれと頼んでも白装束は身動きひとつしない。気味が悪くなつたYは酒の酔いもすっかり醒めて這う這うの体で近くの私の家へ逃げ込んだという話だ。翌日、祖父が朝起きて早々に行つてきてみたが何の異状もなかった。Yは「狐にばかされたんぞ」と祖母は言っていた。

それはこんな話だつた。Yが鼻歌まじりで巻が城の小径まで来ると、ふと道ばたに白装束の男が後ろ向きになつて座っているではないか。声をかけたが動かない。樹木に囲まれたこの小径は一本道でほかに回り道はない。どいてくれと頼んでも白装束は身動きひとつしない。気味が悪くなつたYは酒の酔いもすっかり醒めて這う這うの体で近くの私の家へ逃げ込んだという話だ。翌日、祖父が朝起きて早々に行つてきてみたが何の異状もなかった。Yは「狐にばかされたんぞ」と祖母は言っていた。

夜間ソフトバレーボール大会

結成3年目を迎えて

BWHレディー2
松村詩織

結成三年目を迎えた私たちBWHレディー2は、新たなメンバーを二人むかえ、今大会に臨みました。この大会は、普段はそれぞれ別のチームで練習している六人が顔を合わせ、一緒にチームで練習している方と戦うことのできる機会なので、毎年楽しみにしています。

試合中、動きが硬かったり、焦ってしまうときもありましたが、とにかく楽しくやろう！とセットの合間で声をかけ合って、その言葉通り、楽しく大会を終えることができました。

結果、優勝することができ、二連覇となりました。結成当初からは想像もつかない好成績を収めることができ、うれしく思います。そろそろ、他チームから打倒！なんて掲げられるよ



女性の部優勝「BWHレディー2」



混合の部優勝「TENKEI」

夜間リーグに参加して

TENKEI
桐生健太

今年の夜間ソフトバレーボール大会は総当たり一回

うになるのかなあと思うと、ちよつと緊張しますが……。怪我もなく終えることができ、今年は冬季大会も予定されているので、楽しみにしたいと思います。

の三日間の大会でした。私たちのチームは毎週木曜日に練習しています。勤務は中番遅番があるため、なかなかメンバーが集まらず練習も不十分なまま大会に臨みました。

試合は、フルセットにもつれ込んだり、デュースやリードから同点まで追い付かれたりと肝を冷やすことが何度ありました。一番のピンチは、土曜日の夜ということもあり、人が集まらず不戦敗になりかけた日があったことですが、助った人のおかげで試合をすることができました。

私のお好きな歌のひとつに、アリスの「遠くで汽笛を聞きながら」がある。作詞はアリスの谷村新司、作曲は同じく堀内孝雄である。堀内孝雄のちよつとハスキーっぽいボーカルが渋く、哀愁漂うバラードである。メロディーもすばらしいが、前奏、間奏、エレクトリックのソロ演奏が実にいい。特にエンディングは秀逸で、ギターが泣いていると言つてもよく、余韻へと誘い感慨無量なおももちとなる。

片親であったにも関わらず、私は東京で就職した。故郷で就職しなかったのは、建築・街づくりの仕事は東京だという想いがあったからだ。しがらみから逃れたいという感情が根底にあったことも否めない。仕事に脂が乗り、充実した日々を送る頃、部屋の片隅や帰省の

歌は世につれ〜（二話）

望郷「遠くで汽笛を聞きながら」

上佐原 小池 光好

た。このままいくともう故郷には帰れない。思ふと、なんとも言えない寂寥感に襲われ、望郷の念が込み上げてくるのである。堀内孝雄は歌詞がどういう意味なのか、どんなメッセージが隠されているのか、長年疑問に思っていた。そんな時、彼らの本拠地神戸が大震災に見舞われた。うすうす答えてはこれだと思つていたところ、東日本大震災が起き、この歌の本当の



〈豊丘村川柳クラブ豊柳会〉

▼課題「計」 久保ひろし 選
数字出る計りの目盛りごまかせぬ 安田 喜子
旅に出て計画にないヒモゆるむ 林 もも子
計算じゃ黒字のはずが銭足らず 福沢 勝美
自分より家計が先にダイエット 西元 峯子
軸吟…血圧計少しの動揺すぐ見抜く

▼課題「住」 互 選
八十半ば母の教えが耳に住む 市沢 照子
住宅が増える割には人増えず 久保ひろし
住む人のいない空き家が増える里 桃沢 健介

▼自由吟 福沢勝美 選
一年後五輪の気象不安です 原 美風
漁夫の利を与えてしまふ日韓は 山本 義彦
軸吟…負ける人の金あてにしカジノ呼び

俳句 短歌

花木槿白に重ねて紅はのと
落日の川面煙らす花すすき
鯛雲コーヒー濁す計報あり
夏の朝キキャンピングカー多々道の駅
巣立ちゆくカラスの親子秋立ちぬ
空蟬の七日がむなし神の庭
芋飯や黒塗られれた国語本
案山子みな早も翁となり給ふ
物憂を帽子に詰めて芒原
紫蘇の実のレシビにまどふ誕生日
掌中の願い事固く星迎
父に似し寡黙の兄や吾亦紅
秋深し辛寿の母の待つ家路
野分中目覚めし夫の深呼吸
十一面観世音の耳瑠璃の凛と涼新

磯部セツ子
田中 静
片桐 洋子
森田 恵子
三島 保子
三島 里子
木下 眞水
松岡 照子
宮下 純子
池田 美和
矢島千勢子
林 恵美子
丸山 時子
北原 昭子

〈とよおか短歌会〉

貧困に喘ぐカンボジアの子等を見て井戸掘り支援のTシャツ求む 松下 泰見
日常の暮しに音は多すぎてもまず笛吹のケトルを換える 北沢 秀子
盆過ぎてふつくら実りし枝豆は帰省の子等に作りたるもの 福澤貴美恵
縄とびに初挑戦の五歳児は十四跳べたと満面の笑み 筒井 恵子
青虫と蚕の手触り似ていても何故か愛しい おかいこ様は 壬生 千春
夫逝きて十九年の来し方を遺影に語る明日は九十路 大倉 知江
古希迎え九十余名の同年会会釈かわせどわからぬ顔かお 大原真由美
暮れなずむ山里の村一日の終わりを告げるチャイム流れる 毛涯百合子
十六夜の月と煙火の競演に月下美人もひと夜華やぐ 松尾ヒサコ
終活に献体登録済ませたりもはや児孫に美田残さず 福澤 亀人

〜シリーズ〜 豊丘の自然

No.190

コシアキトンボ
(トンボ科)



トンボの和名には、いろいろな色が付いている。一覧にしてみた。
黄 キイトンボ、キトンボ、ネキトン
黒 クロイトンボ、ハクロトンボ、クロ
サナエ、ヒメクロサナエ
銀 キンヤンマ、オオキンヤンマ
銀と黒 クロシギヤンマ
青緑 アオイトンボ、オオアオイト
ンボ、アオサナエ、アオハダト
ンボ、
瑠璃 瑠璃シヤンマ、オオルリシヤ
ンマ
白 オジロサナエ
茜色 ミヤマアカネ、ナツアカネ、マ
タアカネ、タイリクアカネ、カ
マイアカネ、リスアカネ、アキ
アカネ、ヒメアカネ

さて、今月のトンボ、写真で見ると、コシアキトンボと言いたところだが、白い部分があたかも、空いていると見立てての名前。ところで、先日、知人が、その部分が赤いトンボを見たと言つた。図鑑で調べるとカオジロトンボのようだ。だとすると大発見。なぜなら、このトンボ、北海道と本州の山岳地帯に分布する種だから、前号にまちがいがありました。龍江小ではなく豊丘小でした。

(山田 拓)